

広葉雑草や樹木から愛する芝地を守るのはこの私だ。

グリーンキーパー

司令官GK、出動命令を待っている。

# 広葉雑草から樹木まで オールマイティー



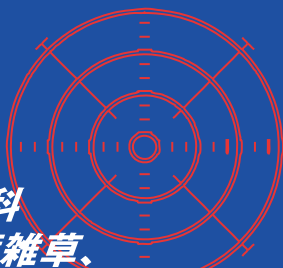
# ザイトロン Zyttron™ Amine LQ

ターゲット

マメ科・キク科

幅広い広葉雑草、

クズやつる類、落葉雑かん木等樹木



## ザイトロン™ アミン液剤

適用芝 日本芝

特徴

- ・雑草発生後大きくなっていても生育状態に合わせ薬量を調製して除草可能
- ・芝以外に、ゴルフ場内のクズやつる類、落葉雑かん木などの樹木にまで幅広く使用可能

種類名 トリクロピル液剤



DOW

Dow AgroSciences

Solutions for the Growing World

# ザイトロン™ アミン液剤

農林水産省登録：第14673号

種類名：トリクロピル液剤

- マメ科・キク科雑草をはじめ幅広い広葉雑草対策におすすめ
- 雑草発生後大きくなっていても生育状態に合わせ薬量を調整して除草可能
- 芝以外に、ゴルフ場内のクズやつる類、落葉雑かん木などの樹木にまで幅広く使用可能

- 有効成分：トリクロピル（PRTR法1種214）…44.0%
- その他の成分：水等…56.0%
- 性状：暗褐色水溶性液体
- 有効期限：5年
- 包装：1ℓ×10本



トリクロピルはオーキシシン阻害系の除草剤で、莖葉より吸収され植物体内の成長の盛んな部位に移行して細胞分裂・伸長を阻害し、植物体全体を枯死に至らせます。特にフェノキシ系除草剤では一般に効きにくいチドメグサや多年生のマメ科やキク科雑草に優れた効果を示します。また、クズやつる類、落葉雑かん木にも優れた効果を示します。

## 使用方法（登録内容）

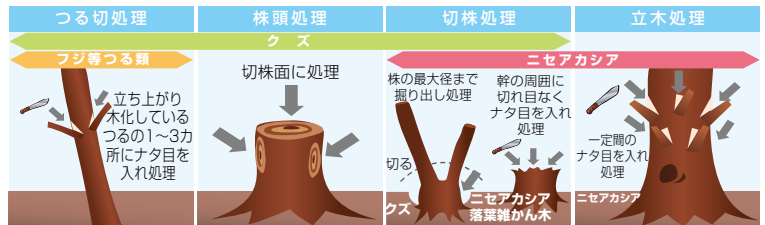
作物名	適用場所	適用雑草木名	使用時期	10アール当り使用量 又は希釈倍数	10アール当り又は 1株当り散布液量	本剤及びトリクロピルを含む農薬の 総使用回数	使用方法
芝 (日本芝)	—	一年生広葉雑草、クローバー、チドメグサ等の多年生広葉雑草	雑草生育期	200~600mℓ	150~200ℓ	3回以内	雑草莖葉散布
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等	一年生広葉雑草 多年生広葉雑草	3月~9月	500~1000mℓ	200~250ℓ	2回以内	植栽地を除く樹木等の 周辺地に雑草莖葉散布
		ニセアカシア		20倍	10~20mℓ/株径10cm		切株処理
すぎ・ひのき (下刈り)	—	落葉雑かん木、一年生広葉雑草、多年生広葉雑草、クズ	雑草木の新葉展開後~ 生育期	3倍	3mℓ/樹径8~9cm	2回以内	立木処理
				350mℓ	30ℓ		雑草木莖葉散布
林木	造林地	雑かん木	4月~10月	10~15倍	45mℓ/株径15cm	2回以内	切株処理
		クズ	11月~5月	25倍	10~20mℓ/株径3~5cm		株頭処理
		クズ・フジ等のつる類	4月~10月	3倍	1mℓ/株		つる切処理
		ニセアカシア	4月~10月	2~3倍	0.5~2mℓ/株径2~5cm		切株処理
		ニセアカシア	3月~9月	20倍	10~20mℓ/株径10cm		立木処理
ニセアカシア	3月~9月	3倍	3mℓ/樹径8~9cm	3mℓ/樹径8~9cm	立木処理		

## 適用雑草

マメ科	カラスノエンドウ、クズ、シロツメクサ、メドハギ、ヤハズソウ	ヒユ科	イヌビユ
ナデシコ科	ツメクサ、ハコベ、ミミナグサ	ツユクサ科	ツユクサ
カタバミ科	カタバミ、ムラサキカタバミ	アカザ科	シロザ
キク科	タンポポ類、アレチノギク、ジシロ、ハキダメギク、ハハコグサ、ハルジオン、ヒメムカシヨモギ、ヒメジョオン、ブタクサ	トウダイグサ科	コニシキソウ
		アカネ科	ヤエムグラ
タデ科	イタドリ、イヌタデ、ギンギン	バラ科	ナワシロイチゴ
スベリヒユ科	スベリヒユ	アブラナ科	ナスナ
カヤツリグサ科	ハマスゲ	セリ科	チドメグサ
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	シノ科	ホトケノザ

## 雑防除雑草および雑かん木に対する特殊な処理方法

クズやフジなどつる類や、ニセアカシアなどの株を確実に枯死させるためには、下のような切株やナタ目などに所定濃度の薬液を直接処理する方法があります。(使用方法をご参照ください)



## 上手な使い方

### よい効果を得るためのポイント

- 雑草生育期の葉が完全に展葉している状態で散布してください。
- 展着剤は必ず添加してください。
- 散布後に雑草を刈り込む場合は、散布後3日以上あけてください。
- 雑草が乾燥しているときに散布してください。
- 散布後の降雨は効果を減らすので、天候を見定めてから散布してください。

### 芝での使用上のポイント

- 日本芝に使用してください。西洋芝には使用しないでください。
- 夏期高温時や、芝の生育が劣っている場合には薬害(黄変)を生じる恐れがありますので注意してください。
- 黄変などの薬害を生じる恐れがありますが、やがて回復し、その後の生育への影響は認められません。

### 造林地、すぎ・ひのきでの使用方法

- すぎ・ひのきの下刈りに使用の場合は、落葉雑かん木が1.5m以下の時期に使用してください。
- ムラサキシキブ、リョウブ、クロモジには効果が劣るので、それらが優占する所では使用しないでください。
- 造林木に薬液が直接かかると薬害を生じる恐れがありますので、かからないよう注意して散布してください。

## 使用上・安全上の注意

- 草花、樹木の新葉等には薬害を生じる恐れがあるので、かからないように注意して散布してください。
- カタバミには効果が不十分な場合があるので、カタバミの多い所では所定の範囲の多めの薬量で使用してください。
- イネ科雑草には効果がないので、イネ科雑草の多い所では使用しないでください。
- 広葉雑草の中、オオバコ、スイバなどには効果が劣るので、それらの優占する所での使用はさけてください。
- 周囲の有用植物や水源地等に散布薬液が飛散しないように注意してください。
- 散布薬液が飛散すると、自動車やカートタンの塗装等に影響を与える恐れがありますので、注意してください。
- 金属腐食性があるので、散布器具等は使用後直ちに水で洗浄してください。
- 危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意してください。
- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さないようにしてください。空容器等は環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、できるだけ病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は施設内外に放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

## 供給元

ダウ・ケミカル日本株式会社  
ダウ・アグロサイエンス事業部門 営業本部

〒140-8617 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー  
URL <http://www.dowagro.com/jp/>

## 取扱

本資料は2013年1月現在の知見に基づき作成されています。